

考える素材

脱原発金曜ウォーク 宇部 2012.08.12 から 第524回目

発行：いのち・未来うべ

宇部市立図書館 雑誌スポンサー 『世界』（岩波書店）を提供

連絡先：〒755-0029 山口県宇部市新天町1丁目2-36 宇部市民活動センター「青空」

ブログ：<https://blog.goo.ne.jp/nonukes2013> 電話 080-6331-0960 (安藤公門)

◎8月24日発表の政府の原発の新方針(再稼働と新增設・新型炉開発)の狙いのひとつは、上関原発の建設です。岸田政権の前のめりの原発政策に強く抗議し、原発ゼロの声を大きくすることを訴えます。みなさんのご意見をお寄せください。



上関現地で進められている完成近い原発道路工事 小中進さんのブログから

◎8月25日～26日の報道の見出しから

(日経新聞) 原発新增設へ転換、次世代型の建設検討 再稼働7基追加 岸田文雄首相が表明
(毎日新聞社説) 原発新增設へ方針転換 福島反省を忘れたのか
(東京新聞) 政府が原発新增設「検討」と明示…福島事故から封印のはずが推進姿勢 運転期間の延長、計17基再稼働も ※扱いがもっとも大きく図解がわかりやすい。
(朝日新聞) 電力「危機」あおり政治決断、一気に原発回帰 福島事故の教訓どこへ
(中国新聞) 原発政策の転換 唐突な表明に疑問募る
(テレビ朝日) 【大転換】“次世代原発” 新增設の方針に…福島県民「理解しづらい」「慎重に考えて」 動画 https://news.tv-asahi.co.jp/news_economy/articles/000266115.html
(山口新聞) 推進派「長年の夢」 反対派「声聞いて」 上関町、政府原発新增設検討で
(しんぶん「赤旗」) 主張 原発新增設の検討 国民に一層の危険 許されない
(福島民報) 論説 【原発新增設】福島県の教訓忘れるな (裏面に全文掲載)

【原発新增設】福島県の教訓忘れるな（8月26日）

政府は二十四日、次世代型原発の開発と建設を検討する方針を明らかにした。東京電力福島第一原発事故を受け、原発の新增設やリプレース（建て替え）は想定しないとしてきたエネルギー政策の転換を意味する。資源が乏しい日本で、電力の安定供給と脱炭素を進めるための策とはいえ、唐突感は否めない。

昨年十月に閣議決定されたエネルギー基本計画は、福島第一原発事故の反省から「可能な限り原発依存度を低減する」との従来方針を維持した。今月十日の内閣改造で就任した西村康稔経済産業相は新增設に関し、「現時点で想定しない」と述べたばかりではないか。ロシアがウクライナに侵攻した影響による原油価格や電気料金高騰などの状況を踏まえたとしても、安全面などの課題が山積する中で方針転換を急げば、エネルギー問題に対する国民の理解を一層難しくするだけだ。

次世代型は、既存の原子炉をベースに安全性を高めた原発で、経産省は二〇三〇年代半ばに運転を開始する工程表のイメージを先に公表している。開発、建設には長い期間と巨額の費用を要する。原発の再稼働を進めつつ、最長六十年としてきた運転期間の延長も検討しながら「原発回帰」にかじを切る構えとみられる。

福島第一原発事故の発生前、立地地域では子どもから高齢者まで、さまざまな場で原発は安全だと説明を受けてきた。事故が起きて「安全神話」は崩れ、十一年を経た今も多くの方が避難を強いられている。※

原発は国策で推進されたにもかかわらず、国の責任のあいまいさが幾多の訴訟の場などで取りざたされてきた。廃炉の過程でたまり続ける処理水は県民の理解が広がったとは言えない中で、海洋放出に向けた作業が先行して進む。使用済み核燃料の再処理で発生する高レベル放射性廃棄物（核のごみ）の処分を巡っては、国が前面に立つと強調しながら、見通しは何ら立っていない。

技術的な安全性を説くだけでは理解に至らないことは、原発事故の経験から明らかだ。政府が新增設やリプレースを打ち出すのであれば、広く信頼を得る道筋を明確に示す必要がある。

エネルギー基本計画は太陽光、風力をはじめ再生可能エネルギーを主力電源に位置付けている。原発事故の教訓が置き去りにされ、原発回帰で再エネへの投資が滞る事態を憂慮する。水素やアンモニアなどを含め、多様なエネルギー普及の手だても同時に示すべきだ。（渡部 育夫）

（※強調は引用者）

◎第3回 田ノ浦ピクニックと海岸清掃は、9月15日（木）11時～14時に決まりました。

◎平和フェスタ 2022 8月27日（土）12時半～16時 コロナ拡大のためオンライン主体の開催に変更されます。講演 永山茂樹氏 日本国憲法と平和 ウクライナ情勢から見える戦争のない平和な社会 いのち・未来うべも協賛しています。

◎金曜ウォーク 毎週金曜日午後6時 集合場所：新川橋（ヒストリア宇部横）

情報交換とアピール。気軽にご参加ください。全国の脱原発金曜行動とつながり、ともに声をあげましょう。

◎いのち・未来うべ第11回定期総会 （オンライン配信も配慮して会場を変更しました）

2022年9月18日午後1時半～ 宇部市市民活動センター「青空」